

表紙 ~ 第1部 計画策定の意義と計画の性格

他圏域との計画内容の差別化を図るため、計画原案に副題を追加。 **~癒やしときらり輝く産業のしま 四国の創造~**

「第1章 策定の意義」において、厳しい経済状況等を認識した計画策定の記述を追加。

- ・100年に一度といわれる世界的な金融危機を契機に、地域の経済や雇用は厳しい状況。
- ・本計画は、厳しい状況を踏まえつつ、これを**乗り越える自立的発展に向けた将来展望**を描くもの。(P.1)

第2部 四国圏の発展に向けた基本方針

四国圏の現状や課題を適切に認識し、全国のモデルを目指した地域づくりの観点から、一部の記述を適正化。

「第1章 四国圏を取り巻く状況」において、「第3節 四国圏の課題」に記述を追加。

- ・人口減少や高齢化が先行する四国圏の発展について、これからの**我が国における地域のあり方を考えていく一つのモデル**として認識。(P.11)

「第2章 四国圏の将来像」において、「第1節 基本方針」の記載内容を編集・追加。

- ・独自性、個性を活かした地域づくりと、地域づくりを進めるための人材育成・地域資源の活用、新たな公の構築について再編集。
- ・「四国は一つ」の視点から戦略的な連携による新たな四国の価値を創出する方針を記述。
- ・全国よりも10年早く高齢化が進行する四国圏の地域づくりについて、**人口減少や高齢化に直面する我が国の一つのモデル**として記述。(P.15)

第3部 四国圏の発展に向けた戦略的取組

検討の進捗や関係機関からの意見聴取結果を踏まえて、一部の記述を適正化。

- ・地域の暮らしの快適性を高める視点から、**地域医療や救急医療等のための医師の確保**を記述。(P.27)
- ・環瀬戸内海や全国との交流の活性化の視点から、**料金引き下げ等の弾力的な料金施策と、観光交流・物流活性化策等の利用促進施策**による本四3架橋のより一層の有効利用を記述。(P.42)